

## 第19回鉛年間大会講演会のご案内

本年 2022 年は鉛年間になります。当協会においては「鉛リサイクルで実現しよう、持続可能な未来」をスローガンに掲げ、鉛の需要開発・振興を目的として様々な活動に取り組んでおります。その一環としまして下記期日に第 19 回 鉛年間大会講演会の開催いたします。業務ご多忙の折りとは察し致しますが、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

尚、新型コロナウイルス感染状況等を考慮しまして、会場での聴講と Zoom ウェビナーを併用したハイブリッド開催といたします。皆様のご都合やご事情等により参加方法をご選択ください。

**開催期日：**2022年11月16日（水）13：00～16：30

**会 場：**TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター 3階（ホール3F）

**開催方法：**会場+Zoom ウェビナーを用いるハイブリッド開催

**定 員：**会場定員 30 名+ウェビナー定員 100 名  
(申し込みは先着順、定員になり次第締め切ります。)

**参加費：**無料（事前登録が必要です）

**申込方法：**

1) 会場での聴講をご希望の方

添付の『第 19 回鉛年間大会講演会参加申込書』に必要事項をご記入いただき、下記メールアドレスまで参加申込書を送信ください。(申込締め切り 11 月 14 日(月))

参加申込書送付先アドレス：  
lzinfo@kogyo-kyokai.gr.jp

2) ウェビナーをご希望の方

下記 URL にアクセスし、参加申し込みサイトに必要事項をご入力ください。お申込みいただいた方には、メールにて参加方法等をご連絡いたします。

ウェビナー事前登録用 URL：  
[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_dhX1XjOdR62R\\_AjWoBdjFA](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_dhX1XjOdR62R_AjWoBdjFA)

共 催：全国鉛管鉛板工業協同組合、日本鋳業協会 鉛亜鉛需要開発センター  
協 賛：一般社団法人電池工業会、一般社団法人日本産業車両協会  
日本無機薬品協会、全国鉛錫加工団体協議会

お問い合わせ：日本鋳業協会 鉛亜鉛需要開発センター 事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-17-11

(TEL 03-5280-7151、E-mail : lzinfo@kogyo-kyokai.gr.jp)

担当 志 村 までお問い合わせください。

もしくは、当センターホームページ (<https://jlzda.gr.jp/>) のお問い合わせフォームからも可能です。

## 会場へのアクセス

TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

(〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町 8 番地 TKP 市ヶ谷ビル)

- アクセス ●JR 総武線 市ヶ谷駅 徒歩 2 分  
●東京メトロ南北線 市ヶ谷駅 7 番出口 徒歩 1 分  
●東京メトロ有楽町線 市ヶ谷駅 7 番出口 徒歩 1 分  
●都営新宿線 市ヶ谷駅 4 番出口 徒歩 2 分



## 講演会次第

1. 開会の辞 13:00~13:05 日本鉱業協会 鉛亜鉛需要開発センター長 大石 保
2. 主催者代表挨拶 13:05~13:10 日本鉱業協会 会長 納 武士
3. 来賓ご挨拶 13:10~13:15 経済産業省 製造産業局 金属課長 松野大輔

### 4. 講演

特別講演 13:15~14:25

自律分散型エネルギーの技術とビジネス ~EVと蓄電池の組み合わせ~

株式会社 JWAT WAVE 代表取締役会長 中村 良道

地球温暖化対策から EV の普及が加速している。EV は自動車に加え移動する大容量の電池でもあり、蓄電池と組み合わせることでビジネスの範囲を広げ、日本では困難だったエネルギーの地産地消と収益の両面を満足するシステムを創っていくことが期待される。

現在 ローカル VPP の最小システムでの実証実験を続けながら、各エネルギー機器のトランザクションを活用して自律的な電力融通を実現するソリューションを考察中である。本講演では実証実験の内容や、電力の地産地消を実現する次世代の EMS を紹介する。

【休憩】 14:25~14:40

講演1 14:40~15:15 鉛の需給と価格動向について

東邦亜鉛株式会社 金属・リサイクル事業本部  
金属営業部長 兼 大阪営業部長 小島 崇明

鉛の世界需給および国内需給に関する近年の動き、また、主要国の需給動向、価格動向についての傾向分析、それらを踏まえた今後の展望等について述べる。

講演2 15:15~15:50 鉛電池の市場動向と技術動向

古河電池株式会社 技術顧問 古川 淳

リチウムイオン電池が注目される中、鉛電池は二次電池市場全体の売り上げの半分を占めるとともにいまだ成長を堅持している。本講演では鉛電池の市場動向について述べるとともに鉛電池の最新の技術動向に関しても紹介する。

講演3 15:50~16:25 社会に役立つ鉛の有益側面

全国鉛管鉛板工業協同組合 理事長 佐久本 明

鉛の主用途は世間では鉛蓄電池か釣り用錘向けで限定的に認知されているものの、鉛全

体として社会に対し広範囲に重要な役割を果たしていることは、あまり知られていない。

過去の鉛年間大会では、鉛遮蔽の動向、環境面からの有用性、そして先端技術の利用状況を講演したが、今年は社会全般で鉛がどの様に利用されているか等を述べる。

5. 閉会の辞 16：20～16：25

全国鉛錫加工団体協議会 会長 松尾 卓

以上

## 第19回 鉛年間大会講演会参加申込書

(日本鉱業協会 鉛亜鉛需要開発センター lzinfo@kogyo-kyokai.gr.jp)

日時:2022年11月16日(水) 受付開始 12:30 (講演会開始 13:00)  
場所:TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター 3階 ホール 3F  
(東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP 市ヶ谷ビル)  
申込締め切り: 11月14日(月)

貴社(団体)名: \_\_\_\_\_

ご住所: \_\_\_\_\_

ご連絡先(TEL): \_\_\_\_\_

ご連絡先(eメール): \_\_\_\_\_

所属/役職	お名前

上記に必要事項をご記入いただき、下記アドレスまで送信ください。

(日本鉱業協会 鉛亜鉛需要開発センター lzinfo@kogyo-kyokai.gr.jp)

**お問合せ:** 日本鉱業協会 鉛亜鉛需要開発センター 事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-17-11

(TEL 03-5280-7151、E-mail: lzinfo@kogyo-kyokai.gr.jp)

担当 志村 までお問い合わせください。

もしくは、当センターホームページ(<https://jlzda.gr.jp/>)のお問い合わせフォームからも可能です。

(注) 参加を申し込まれた方への参加券発行は致しません。当日は時間までに会場受付へご来場ください。

以 上